

令和3年6月3日

養父市議会議長 西 田 雄 一 様

養父市新文化会館整備事業等特別委員会
委員長 植 村 和 好

養父市新文化会館整備事業等特別委員会中間報告書

当特別委員会において調査したことを、次のとおり中間報告する。

記

- 1 調査年月日 令和3年3月29日（月）
- 2 調査事項 新文化会館整備事業等の進捗状況について
 - (1) やぶ市民交流広場（Y Bファブ）の進捗状況について
 - (2) 市道宮越諏訪町線ほか周辺市道整備事業及び旧グンゼ事務所棟・宿泊棟活用事業の進捗状況について
- 3 調査内容

やぶ市民交流広場（Y Bファブ）と周辺整備事業の令和3年3月末進捗状況及び今後の予定について、ホール棟と図書館棟については、市民生活部文化会館建設推進室及び施工事業者から、周辺市道整備、旧グンゼ事務所棟及び宿泊棟は、まち整備部から現地説明を受け調査を行った。

(1) やぶ市民交流広場（Y Bファブ）の進捗状況について

養父市文化会館（仮称）建設工事の進捗状況は、前回調査の12月末時点で43.1%から今回調査の3月末時点は71.0%となり3カ月で約28%進捗している。

ホール棟及び図書館棟は、ともに躯体工事を概ね完了し、今後、内装工事・外装仕上げ・舞台装置の施工が本格化する。内装仕上げにおいては、各部屋の色彩等を検討中で、天井は、基準を満たした吊り金具を使用し落下防止のため補強している。また、屋根の落雪に対しては、緩やかな屋根こう配を採用し雪止め瓦と雪留樋等を設置することで1.5メートルの積雪に対応できる構造としている。設備関係の備

品器材調達において、新型コロナウイルス感染症の影響を懸念していたが、今後の工程進捗に支障はないとしている。

(2) 市道宮越諏訪町線ほか周辺市道整備事業及び旧グンゼ事務所棟、宿泊棟活用事業の進捗状況について

周辺市道整備の宮越諏訪町線の新設工事は3月25日に完成し、ブロック塀撤去後に既設部の歩道工事を進めていく。市道諏訪町1、2号線は、本体工事の盛土が完了した箇所から順次、水路工事、L型街渠設置工事を進めている。5月末としていた工期は、本体工事の遅れに伴い6月末に延期される予定である。

旧グンゼ事務所棟及び宿泊棟の改修工事は、耐震工事を含み、既設基礎の補強・増設を完了し、耐震補強材の取付け等を施工中である。事務所棟の2階部分、宿泊棟の内装及び設備関係は、令和3年度に発注する2期工事で行うとしている。

(まとめ)

今回の調査時点における新文化会館建設工事の進捗率は71.0%と当初計画の74.1%から3.1%、日換算で24日遅れている。完成期限を5月末から6月末に延期する予定であるが、9月のグランドオープンに支障がないよう工程管理の徹底を図られたい。

外構工事は、6月から8月の施工になるが、この時期での植栽工の実施にあたっては、植栽木の養生に充分留意されたい。

施設の内装仕上げにあたり、授乳室の採光や壁等内装の色彩の選定については子育て世代の意見を聴取し参考にするなど、利用者のニーズに沿った魅力ある空間となるよう配慮されたい。

完成後の公民館は、八鹿地域の公民館であるとともに市全体の施設でもある。市民が文化芸術にふれる学びと交流の新たな拠点として、市民会議等の意見を聴取して、多くの市民が有効に活用できる計画を作成されたい。

ホールの運営スタッフを4月から市内全域へ募集するが、研修等に要する期間が必要であり早期の人材確保が望まれる。

運用開始から3年程度は、諸団体との新たな連携を構築するなど、重要な時期となることや、情報通信技術を活用し、新しい時代ニーズに対応する設備の追加も想定されることから、一定程度の予算確保が必要になる。

新設した宮越諏訪町線の延伸部のバス停スペースに乗客用の待合室的な施設が必要であり、市民（市民会議）やバス運行事業者等との協

議を進められたい。

建築現場の状況は、内部足場等での高所作業が多くあり、安全作業を最優先しながら品質管理を徹底されたい。

また、外構工事、周辺道路整備工事においては、地元住民との距離が近くなり、子どもが出入りするミニ公園も隣接していることから、特に工事車両の運行等においては、安全を担保した管理体制の徹底を図られたい。